

【自院データ分析の実際】

平成25年6月15日(土)
 青森セミナー
 岩手医科大学附属病院 医務課
 産業医科大学 訪問研究員
 栗山真也、齋藤匡俊、古内高志



岩手医科大学附属病院の概要

- 所在 岩手県盛岡市内丸19番1号
- 標榜科数 47科
- 病床数 1,166床
 (医科:1,019床、歯科:32床、循環器医療センター:115床)
- 患者数 外来 2,107人
 入院 911人
 (平成24年度1日平均患者)
- 病床利用率 79.0%

※平成30年度内に矢巾地区へ附属病院移転を計画しております

●アジェンダ●

- 1、岩手二次医療圏の患者推計調査について
- 2、厚生労働省公開データを用いた疾患別分析について
- 3、EFファイルを用いたクリニカルパス
現状分析について
- 4、院内データとのリンクについて
- 5、まとめ

1、岩手二次医療圏の患者推計調査について

◆ロジック

1) 人口総数の推移(年齢別)
 ・DPC研究班データ、国勢調査、国立社会保障人口問題研究所『日本の市区町村別将来推計人口』(平成20年12月推計)、平成23年(2011年)患者調査の概況データを用いて、岩手の年齢別の人口推移について作成

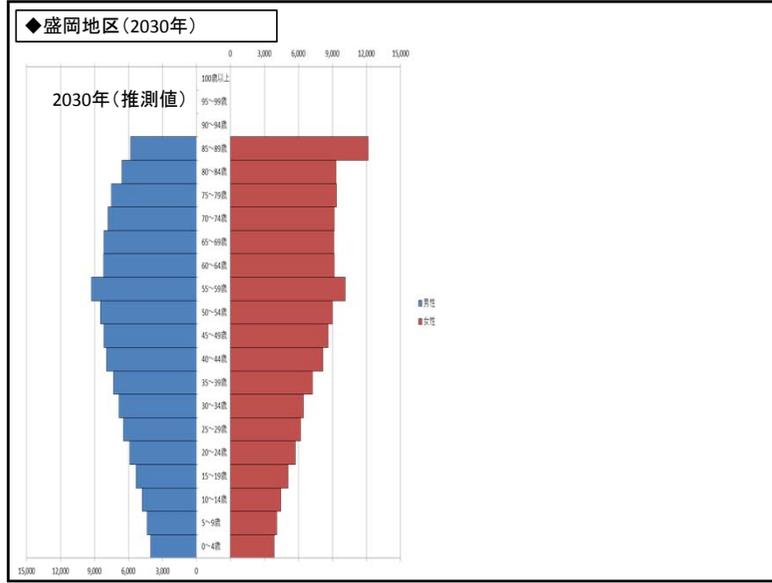
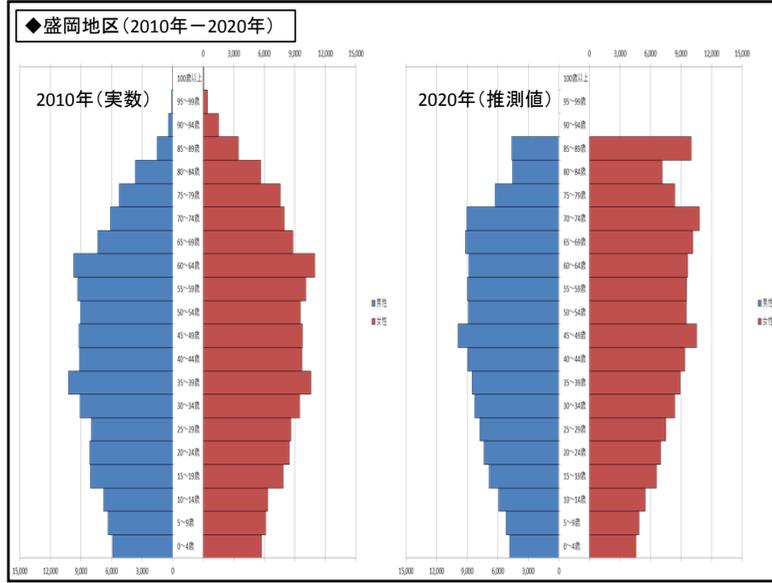
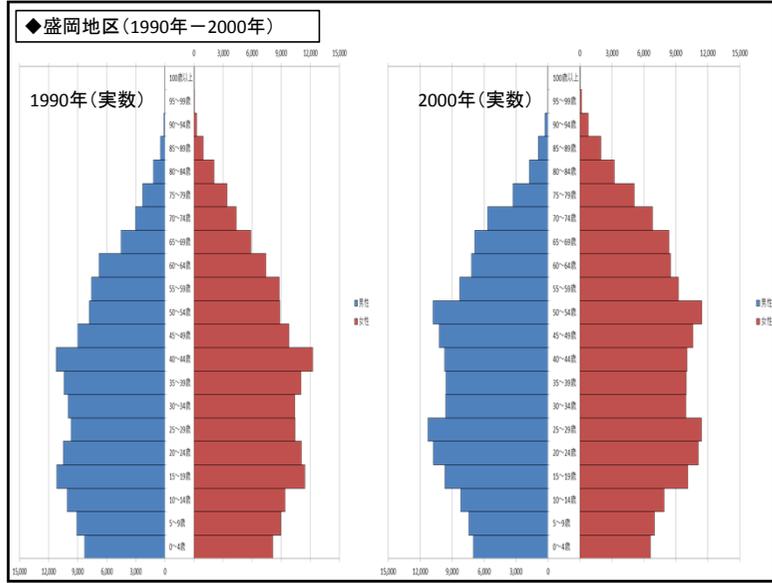
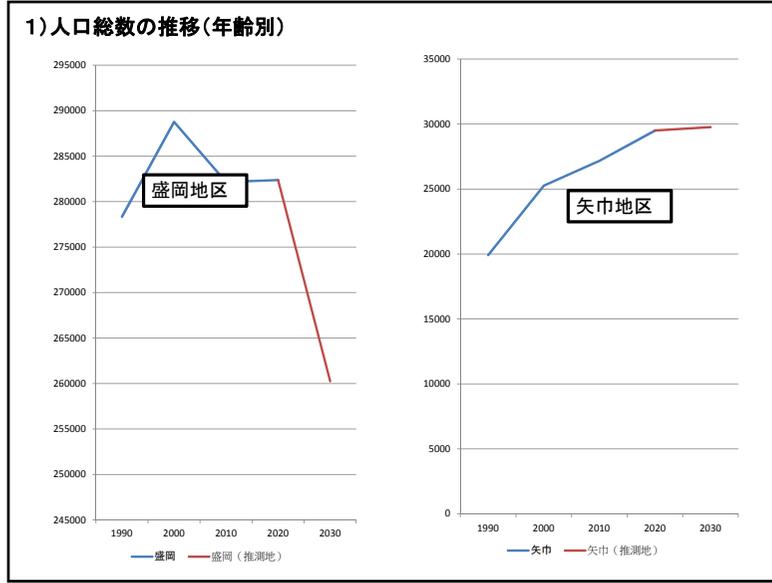
2) 入院及び外来患者の疾患別動向

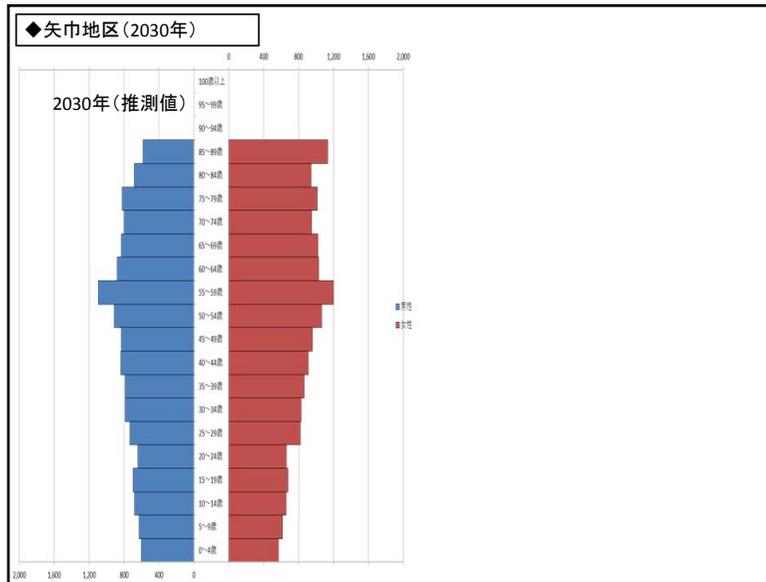
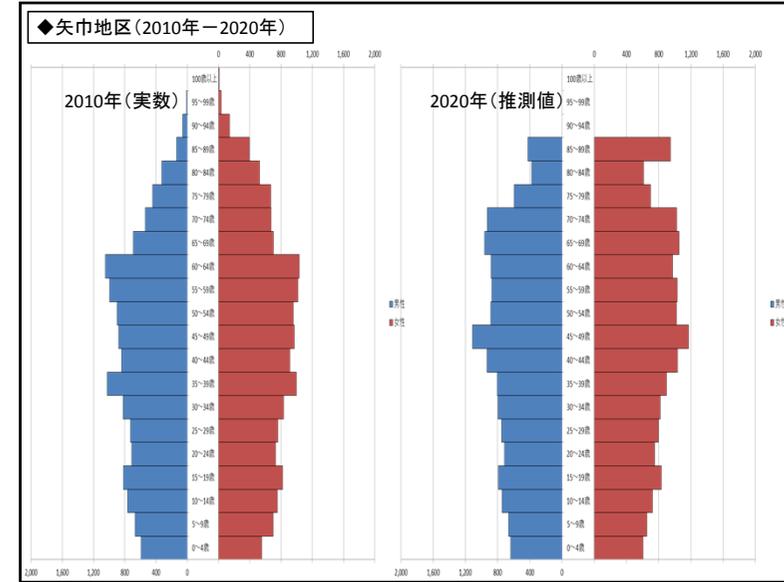
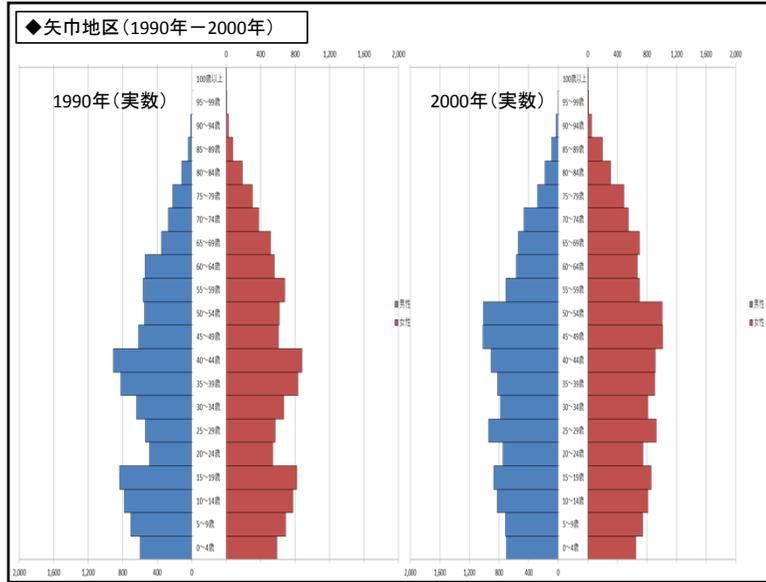
・医療圏別人口コホート分析を実施し、1990年～2030年までの実数及び推計値を算出

参考URL

<http://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson08/5-sai/shosai.html>

<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do>





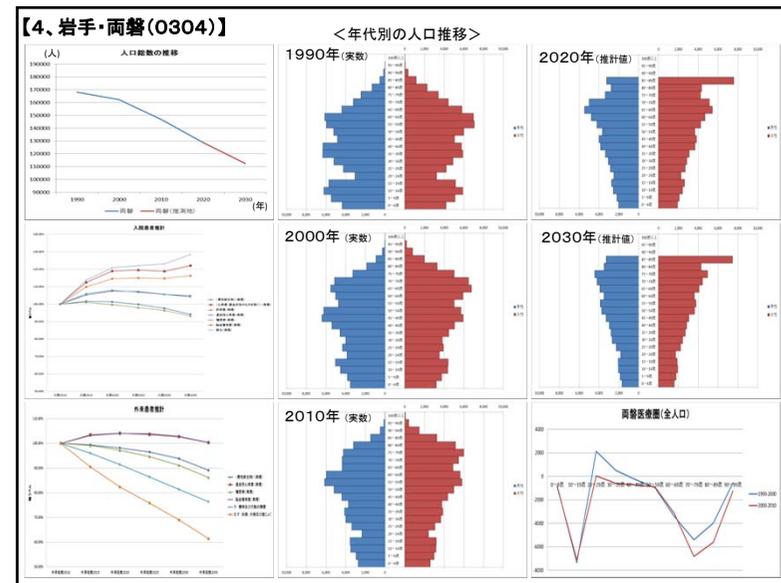
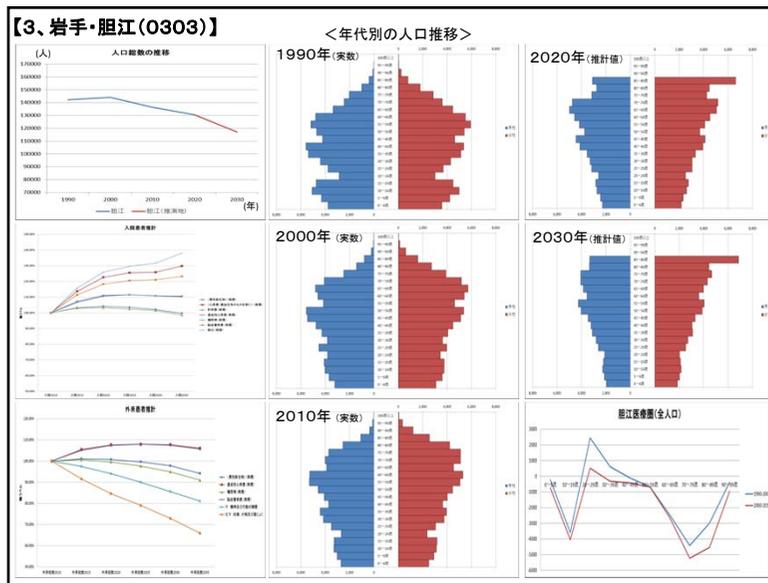
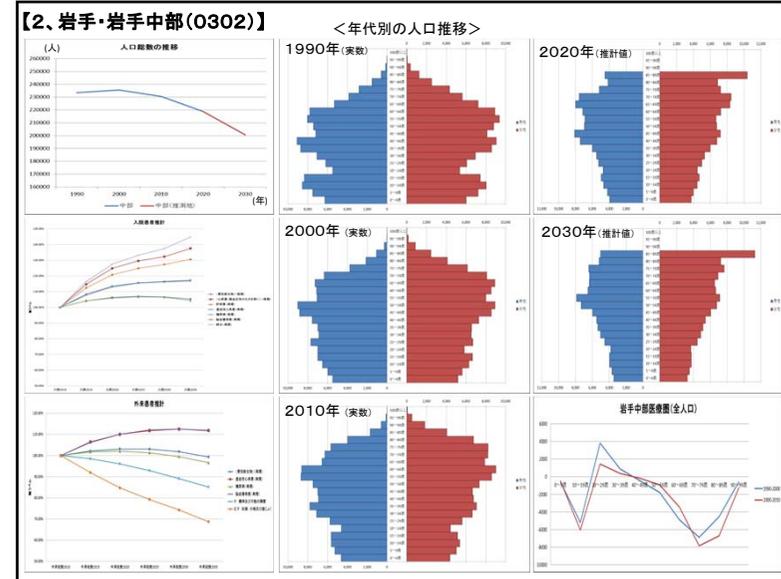
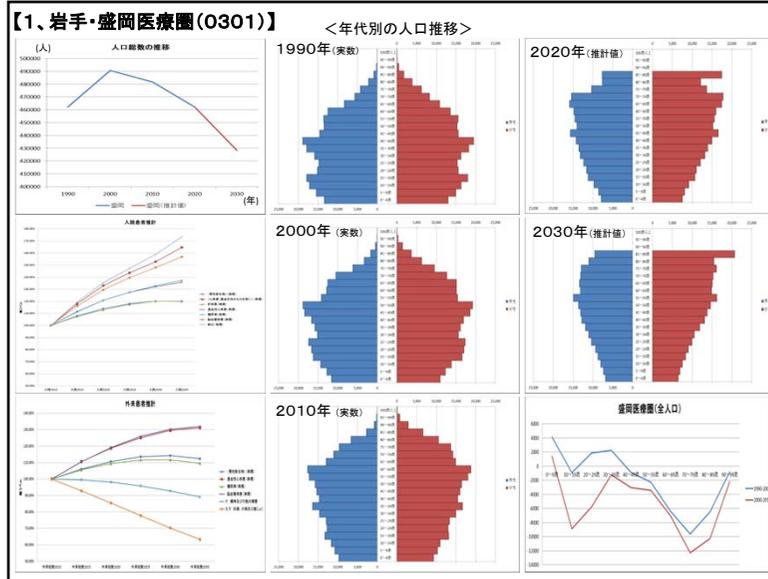
2)入院及び外来患者の疾患別動向

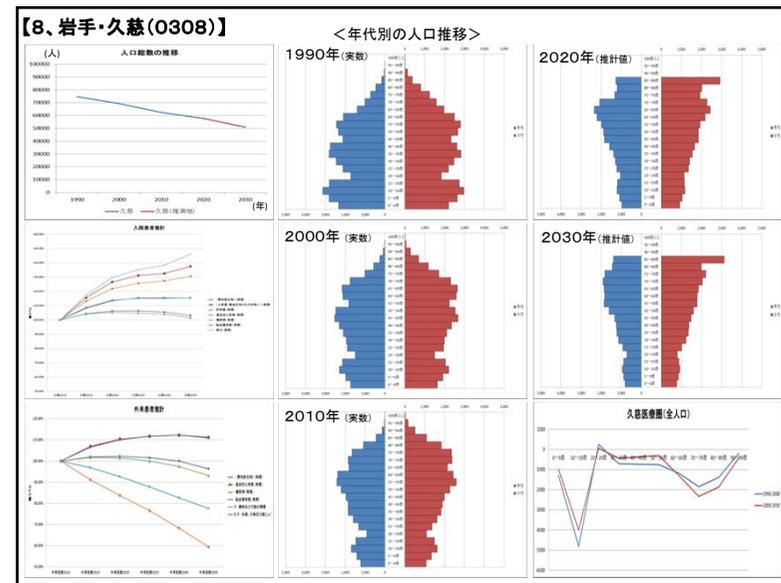
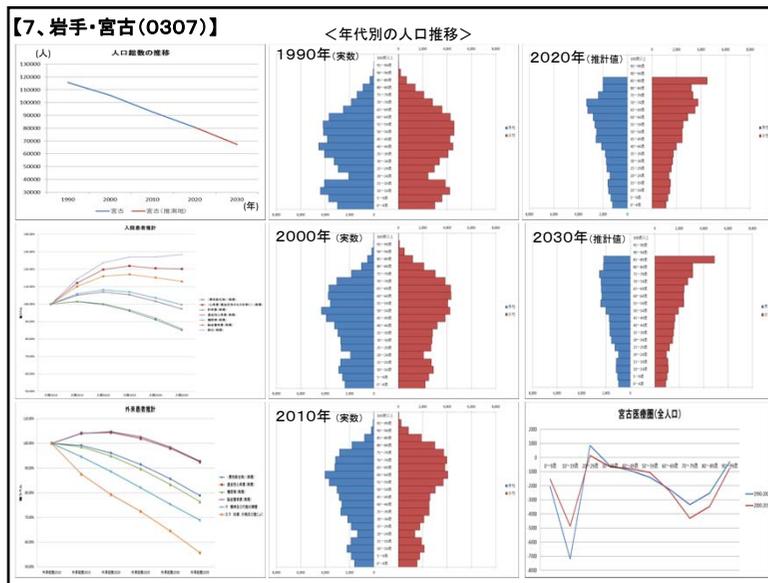
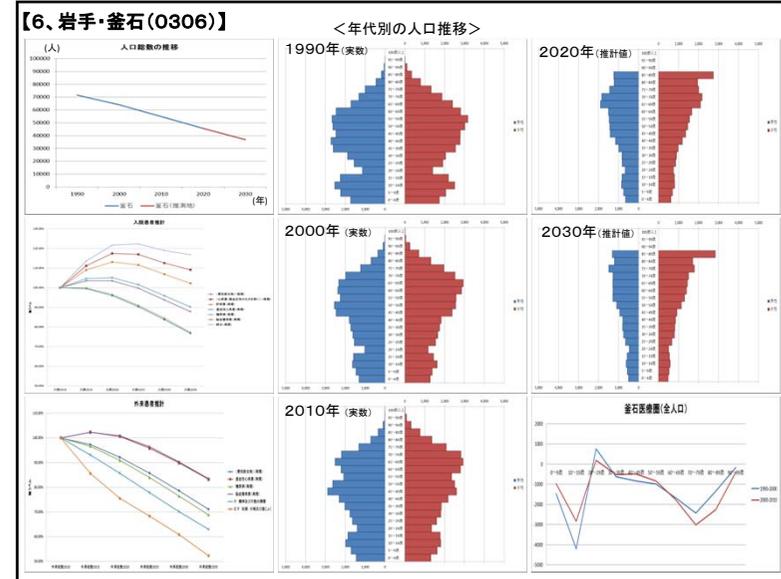
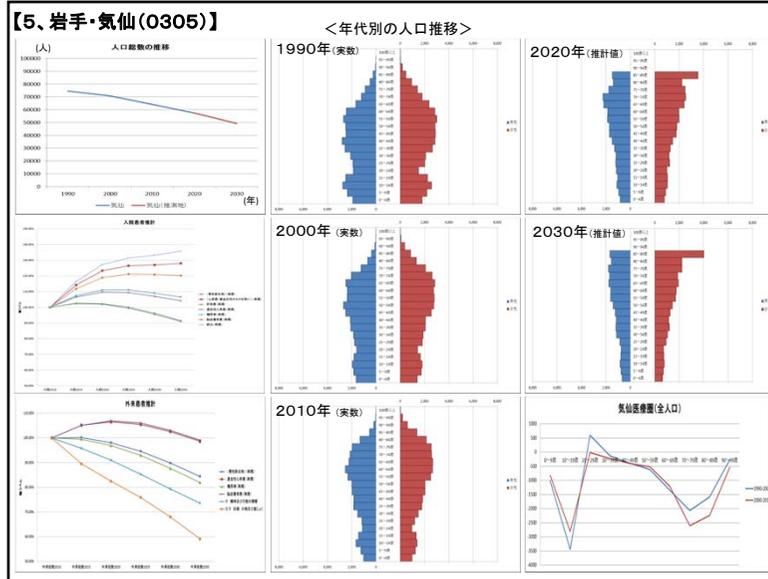
【岩手県 医療圏分析】

- 1、盛岡(0301)
- 2、岩手中部(0302)
- 3、胆江(0303)
- 4、両磐(0304)
- 5、気仙(0305)
- 6、釜石(0306)
- 7、宮古(0307)
- 8、久慈(0308)
- 9、二戸(0309)



※繰り返しになりますが、、
平成30年度に矢巾地区へ附属病院移転を計画しております。
現在、病院は盛岡医療圏にありますが、移転後も同一です。





4、院内データとのリンクについて

◆ロジック例

1) 中央手術室稼働状況分析

・各診療科から申し込みのあったオーダー情報をCSVファイルにし、QVを使用し、科別に「手術申込時間枠」と実際に行われた「麻酔開始時間ー麻酔終了時間」を計算し、標準偏差を算出

2) 小児患者(15歳未満)の入院割合分析

・小児科病棟以外の他病棟で、小児患者(15歳未満)が入院している割合分析を実施。病院移転に伴い、小児科病棟の在り方を検討し、地域の中核病院とし、医療の質向上、診療稼働額の増収に繋がるかどうかのシミュレーション

5、まとめ

○様々な院内外のデータを用いることで、分析テーマの無限の可能性が広がる

○問題となる点をあらかじめ見つけ出し(見極め)、分析を進めていくことで、本来の見ていなかったさらなる箇所を抽出することが可能

○院内へのデータ分析結果フィードバック方法の確立の難しさあり、早急な分析環境の整備(組織体制整備の必要性)(人材育成)

○分からないことがあればお互いの知恵を寄せ合い、分析できるためのFACE TO FACEの繋がりを確立の必要性

○原価計算の必要性(病院経営として永遠の課題)

